

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード：120304

小児看護方法論 Child and Family Health Nursing

担当教員	金谷 雅代 西村 真実子 千原 裕香 坂本 洋子				
実務経験					
開講年次	3年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	45		
Keywords	健康障害・健康問題をもつ子どもと家族への看護 小児看護技術 小児看護過程				
学習目的・目標	目的：健康障害や健康問題を抱える「子どもとその家族」の心身の状態と看護について学ぶ。目標： 1) 病気や入院が子どもとその家族に与える影響とその看護について理解する。 2) 小児期に特有の健康障害を病期別にとらえ、各病期にある子どもとその家族への看護の特徴について理解する。 3) 子どもを対象とした看護技術を習得する。4) 健康障害をもつ子どもとその家族に対して紙上で看護過程を展開し、看護を行うときの考え方・手順を理解するとともに、クリティカル・シンキングの能力を育む。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	ガイダンス、小児看護学実習Ⅰオリエンテーション				
2	小学校における子どもの健康問題、養護教諭の職務、保健指導における指導案の作成				
3	幼児集団への保健指導案の学生間での検討（互いの指導案にアドバイス）（小児看護学実習Ⅰの準備）				
4	幼児集団への保健指導案のグループ&個別指導および指導案の修正（小児看護学実習Ⅰの準備）				
5	小児看護学実習Ⅰ事前現場指導（小児看護学実習Ⅰの準備）				
6	幼児集団への保健指導案の予行演習（リハーサル）（小児看護学実習Ⅰの準備）				
7	病気や入院が子どもと家族に与える影響と看護				
8	健康障害の病期別の子どもと家族への看護Ⅰ 1)慢性的な経過をたどる疾患の特徴と治療、病気による子どもと家族の生活の変化、子どもの発達とセルフケア獲得への援助、地域との連携・調整 2)慢性期にある子どもとその家族：「Ⅰ型糖尿病」と生涯付き合う				
9	健康障害の病期別の子どもと家族への看護Ⅱ 3)慢性期にある子どもとその家族：成長に伴い改善していく可能性のある「気管支喘息」				
10	健康障害の病期別の子どもと家族への看護Ⅲ 4)慢性期にある子どもとその家族：心疾患				
11	健康障害の病期別の子どもと家族への看護Ⅳ 5)慢性期および終末期にある子どもとその家族：小児がん				
12	手術を受ける子どもとその家族への看護				
13	低出生体重児とその家族への看護				
14	発達に問題がある子どもとその家族への看護				
15	子どもを対象とした看護技術－計測、与薬、バイタルサインズ測定等－				
16- 23	1. 小児看護における看護過程の展開：紙上事例を通して（グループ演習） 2. 子どもを対象とした看護技術（演習）				
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 「小児看護学[2] 小児臨床看護各論」（医学書院）（疾病・障害論Ⅳで使用する教科書）				
参考図書等	山元恵子監修：写真でわかる小児看護技術、インターメディカ 嶋下重彦監修：子どもの病気の地図帳、講談社、2002				
評価指標	1 必要な出席状況を満たすことにより評価する 2 試験（70%） 3 予習および演習のレポート（20%） 4 グループワーク・演習への参加姿勢（10%）				
関連科目	疾病・障害論Ⅳ(母子) 小児看護学概論 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ				
教員から学生へのメッセージ	病児とその家族への看護の基本項目と課題について考えていきたいと思ひます。また、小児看護学実習Ⅰ（保育施設での実習）の事前準備や、小児看護技術の学内演習、紙上事例の看護過程展開演習も含まれています。				